

# マネジメント講座

朝出社しておいしいコーヒーが欲しくなり、スマートフォン（スマホ）をタッチすると、10分もたたず熱々のカフェラテが届けられる。ランチはおいしい料理とレストランを選んでタッチするとお昼時に届いてみんなとエンジョイ。夕方、コンビニに寄ると、スマホで入店、商品を選んで持って帰るだけ――。

最先端のデジタルトランスフォームの展示会ではない。この秋、私が上海で体験した数々の現実のほんの一部だ。Home coffee（スターバックスコーヒーの「宅配版」）、フーマー（ニューリーテールのスーパード、写真）、無人コンビニなど。驚くのはどれも当たり前の社会風景に溶け込んでいることだ。老若男女を問わずスマホタッチで済ませる。現金がほと



## RPA入門⑩ デジタルレイバーとの協働

んどみられない。フーマーには一度訪れてもらいたい。これまで目にしたことがないし、野菜も海鮮もどれも美味だ。

日本はどうか。キャッシュレス決済を少しでも普及しようと奮闘する状況。壮大なレガシーをぬぐえない焦燥感がわきあがってくる。我々が真剣に考えなければならぬのは、中国を中心とする東アジアや世界に広がる新しいビジネスモデルとどう共創していくかだ。

大企業から中小企業に至るまでデジタルレイバーとの協働力を社員と組織が学び、日常を革新する例を紹介してきた。次々誕生するテクノロジを取り込むことが容易なこの「協働力」の習得が困難、現場力に生かせない組織は世界のイノベーションの潮流に乗れず、蚊帳の外に置かれるだろう。

この「協働」は、現場の仕事や暮らし、社会に楽しさをもたらす。慣れると改善や革新がとまらない。

日本全国で続々と誕生するデジタルレイバーとの協働を当たり前にする新現場力と世界との共創が始まるこれからが楽しみでならない。

（RPAテクノロジーズ 代表取締役社長

大角暢之）

＝この項おわり